



# 名寄市立大学の窓から

## 知への誘い

vol.88

### 「がん」Advance Care Planning

保健福祉学部 看護学科

講師

中澤 洋子



がんは身近な病気ということをご存知と思います。一生の中で2人に1人は何らかのがんにかかるといわれており、がんになった人が5年後に生存しているかどうかの調査では、6割以上の人が生存しているという結果です。生存率が高いように見られますが、それだけ長い期間がん治療を続ける人や、一度克服しても再発していないか経過をみる人たちが多いということになります。

がん治療には、手術、薬物療法、放射線療法に加えて、辛い症状や気持ち悪さを和らげる支援の緩和ケアがあります。そしてそれらは、医療者が決めた治療をするのではなく、最良の治療を患者さんと一緒に決めていくプロセスが重要であり、特に『生活の質』を意味するQOL(Quality of Life)が



「Advance Care Planning」と

治療を検討する上でとても重要です。一例として、治療により延命したとしても、その人のQOLが低下してしまうことがあります。人によっては「高度医療を受けてできる限りのことをしたい」、「病院ではなく家で過ごしたい」、「できる限り働き家族を養いたい」などと、がんになってもその人が求める人生は異なるからです。単に病気を治すだけではなく、治療中や治療後のQOLを大切にし、がん治療による影響を理解しながら、自分らしく、充実した生き方を過ごせるよう治療や療養を選択することが重要なのです。

が大切にしてきた価値観を患者・家族と医療者が共有し、ケアを計画する包括的な「プロセス」で、「人生会議」という愛称でご存知の方も多いかと思いますが、この中には5つのステップがあり、①希望や思いについて考えましょう  
②健康について学び考えましょう  
③あなたの代わりに伝えてくれる人を選びましょう  
④希望や思いについて話し合しましょう  
⑤考えを私の心づもりにも書きましょう



### 大学図書館へようこそ！

全道・全国各地から新しい学生を迎え、新年度がスタートします。充実した学生生活となるよう、図書館でも応援していきたいと思えます。

#### 【4月の開館について】

- ・日曜日と昭和の日(29日)は休館です。
- ・4月4日(土)までは9時から17時までの短縮開館です。
- ・開館に関するお知らせは、随時ホームページなどでお知らせしています。(https://webopac.nayoro.ac.jp/)

#### ◆問い合わせ

名寄市立大学図書館 ☎01654⑧7671(直通)

### 大学図書館にはこんな本があります ～「知」への誘い～からもう1歩～

がんとの向き合い方・看護実践などに関する図書を紹介します。

『小澤竹俊の緩和ケア読本』 おざわ たけとし 小澤竹俊/著 日本医事新報社  
→緩和ケアを実践した医師による、患者を支えるためのアドバイスが語られています。

『がん哲学外来へようこそ』 ひの おきお 樋野興夫/著 新潮社  
→2008年に開設されて以降活動を広げている「がん哲学外来」のこぼれ処方箋が綴られています。

『がん看護の日常にある倫理』 こんどう 近藤まゆみ・うめだめぐみ 梅田恵/編 医学書院  
→がん治療の現場でおこる倫理的問題・看護師のジレンマを取り上げ、解決の道筋を示唆しています。

